

特集号「軽量化に寄与する板材成形技術の最前線」の原稿募集

日本塑性加工学会論文誌「塑性と加工」および会報誌「ぷらすとす」2024年3月号では、標記の特集号を企画しております。

板材成形は、代表的塑性加工法の一つであり、自動車用部品の製造等に幅広く使用されています。近年、自動車のハイブリット化やEV化が進み、車体重量は増加傾向にある一方、燃費向上や環境負荷軽減のため、自動車用部品には更なる軽量化が求められています。そのため、高張力鋼板、アルミニウム合金板、マグネシウム合金板およびCFRPなどの適用が期待され、板材成形技術の難易度はさらに上がることが予想されます。本特集では、製品や部品の軽量化に寄与する各種材料の板材成形技術の最新動向、課題および今後の展望等について特集し、読者が今後の製品開発や研究に役立てられることを期待いたします。

つきましては、皆様の最新のご研究、開発の成果を会員の皆様に情報発信したいと考えておりますので、様々な観点から本テーマへの積極的なご投稿を心よりお待ちしております。なお、原稿の採否は論文誌編集委員会、会報誌編集委員会にご一任くださいますようお願い申し上げます。

原稿募集：論文，総説論文，速報論文（論文誌「塑性と加工」に掲載），
技術開発（会報誌「ぷらすとす」に掲載）

申込締切：2023年4月28日（金）

“軽量化に寄与する板材成形技術の最前線”と題し、原稿種別、題目、著者名、連絡先、
および100字程度の概要をご記入の上、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

投稿締切：2023年5月31日（水）

【問い合わせ・申込先】日本塑性加工学会（担当：倉田）

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-3-11 Y・S・K ビル 4F

E-mail: kurata@jstp.or.jp

FAX: 03-5733-3730